

2021年度 慶應義塾大学 一般理系 第1問(1)

問題 点 O を中心とする半径 1 の円に内接する三角形 ABC において

$$-5\vec{OA} + 7\vec{OB} + 8\vec{OC} = \vec{0}$$

が成り立っているとする。また直線 OA と直線 BC の交点を P とする。このとき線分 BC , OP の長さを求めると $BC = \boxed{\text{(あ)}}$, $OP = \boxed{\text{(い)}}$ である。さらに三角形 ABC の面積は $\boxed{\text{(う)}}$ である。

S_keio2021A.01.01.pbm